

ならはらチャレンジ！

No. 4 1

～みんなとつくる、檜原小の「Wa」～

八王子市立檜原小学校
学校運営協議会
会長 森江 晃三

ならはらしょうがっこう ちきゅうえいがっこう
檜原小学校は 地域運営学校（コミュニティ・スクール：CS）です！

学校・地域・保護者が力を合わせて学校運営に取り組んでいる学校です。

学運協だより「ならはらチャレンジ！」では、地域運営学校としての取り組みなどを、お伝えしています。



ハピネスファームのひまわり満開です！

ちきゅう にんげん へんか 地球と人間の変化

ならはらしょうがっこう がくうんきょうかいちよう もりえこうぞう
檜原小学校 学運協 会長 森江晃三

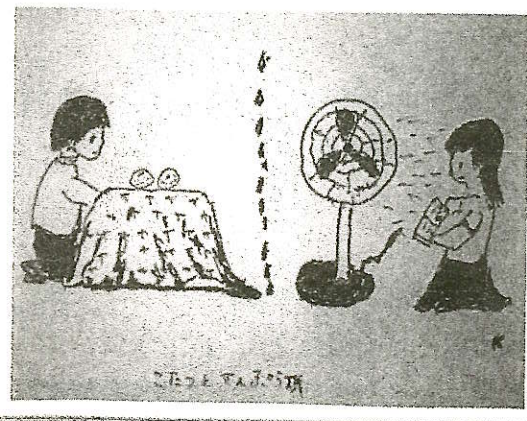
梅雨がきて、うっとうしい日々、学校へ通うのも、外で遊ぶのも荷となくうっとうしくなるような夏休み前です。でもそのうち、夏休みになれば暑い、暑い毎日がくることでしょう。

「昔はこんなに暑くなかった」とお年寄りはいいます。地球温暖化ということがいわれています。地球自体の変化で気候が変わることがあります。氷河時代もまた乾燥の時代も長い、長い人類の歴史にはありました。たくさんの人がこうした変化の中で亡くなりましたが、人類は滅びることなく現代まで世界中で生きています。人類の知恵と努力の結果だともいえます。そして今、みんなが大きなエネルギーを使うからだともいわれています。どうやってあたらしいエネルギー（ものを変化させる力）をえて、どう使っていくかはこれからの人の知恵や技術です。科学は人を殺すためにも幸せにするためにもつかわれます。より幸せに人々が暮らせるようにみんなで、知恵や技術をだしていかなければなりません。

暑さをしのぐのに太平洋戦争の前後までは、せいぜいうちわや扇子、金持ちの家では扇風機、それも一家に一台くらいでした。冬もこたつや火鉢でした。

いま教室も、檜原小では体育館も冷房があります。それが当たり前と思わないでください。世界ではもっと暑いところで勉強をしなくてはならない子供たち、いや勉強もできない子供たちがたくさんいるはず。氷を川や泉から毎日運ばなければならない子供たちもいるはず。

暑い夏にそんなことも考えてみてください。夏休みはこんなことを考えたり調べたりするのによい時期です。2学期にはそれぞれ成長した姿のみんなが見られるのが楽しみです。



（イラスト「こたつとせんふうき」：森江晃三）

★地域運営学校（コミュニティ・スクール：CS）とは？

学校・地域住民・保護者が力を合わせて学校運営に取り組み、地域と学校の協働活動や課題を考える会議体、つまり「学校運営協議会」（以下、「学運協」）を持つ学校のことです。

檜原小学校は、9年前から地域運営学校になりました。今年で10年目になります。檜原小学校の「学運協」は、10名の委員で構成されています。学運協の会議には、事務局の3名も加わります。また、保護者や地域の方の傍聴も可能ですので、事務局までお問合せください。

学校運営協議会委員（敬称略）

会長	森江 晃三	大学名誉教授	ゲストティーチャー	ならっこ学習アドバイザー
副会長	新野 照代	保護司	学校安全ボランティア	
	高橋 恵子	なかの幼稚園顧問、ならはらの森なかの学舎代表		
	高瀬 祐三子	光明第三こども園園長		
	清水 希代美	学校サポーター、檜原小学校学童保育所前所長		
	橋本 良司	元中学高等学校教員	学校サポーター	図書・畑ボランティア
	馬込 徹	檜原町東部町会会長		
	鈴木 明美	学校コーディネーター	学校サポーター	檜原小学校学童保育所主任
	飛川 美和子	檜原小学校PTA顧問	学校コーディネーター	保護司
	市川 愛美	檜原小学校校長		

学校運営協議会事務局（敬称略）

佐々木 大典	檜原小学校副校長
駒形 真央	檜原小学校教務主任
梅寄 恵	学校コーディネーター 檜原小学校PTAサポーター

檜原小学校 学校運営協議会 の目標

子供たちの幸せのために、人と人をつなぐ。そして、既にある檜原の素晴らしい豊かな資源（自然・人材）を活かし、多様な子供たちそれぞれが成長できるような学びの環境をつくる。

- 豊かな自然環境を利用した、体験学習の場と仕組みづくり
- 学校を含めた地域の人々との、温かな交流の場と仕組みづくり
- 個性に満ちた一人一人の児童が、たくましく成長し、自分らしく輝けるよう、見守り支える場と仕組みづくり

檜原小の学校教育方針：

- 明るく健康な子「七転び八起き挑戦力」
- よく考え進んで学ぶ子「仲間とともに追求する力」
- 豊かな心と思いやりのある子「自他を大切にする力」の育成



学運協では「檜原小の学校教育方針」をもとに「地域学校協働活動」を行っています。多世代との関わりや体験を通して、子供たちに自分の将来をイメージし希望を持って生き抜く力を習得してもらう機会を、多数提供しています。「どうやって生きていくか」「どんな人生の選択肢があるのか」「社会はどのようにできているのか」など、人や自然を通して体感してほしいと願っています。